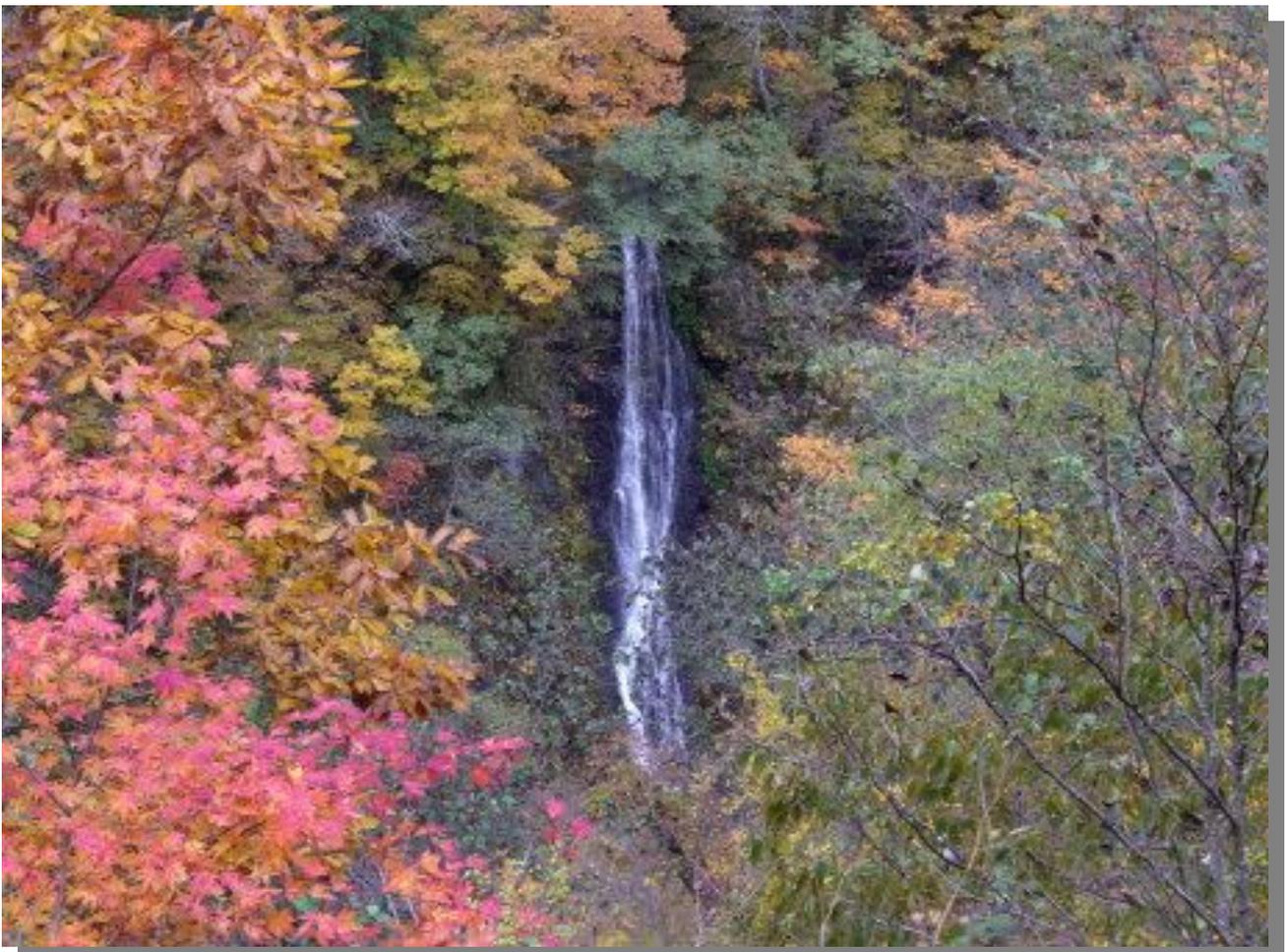


ぺてかり

日高南部森林管理署



奥新冠森林事務所部内1064林班 無名の滝

同僚から聞いた奥新冠森林事務所部内にあるという清楚な滝。先日その滝を撮影する機会を得ました。

森林管理署から片道74kmほどの奥地でひっそりと流れる無名の滝です。

朱色に染まっていくイタヤカエデの葉に、深まりゆく秋を感じました。

【事務局撮影】

労働災害の未然防止について

秋から冬に向けて

労働災害の防止については、人命尊重を基本理念として、労働災害の撲滅を重点目標に、安全管理体制の活性化、基本動作の徹底を図るなど、労働災害の未然防止に努めているところです。

さて、10月1日から一般鳥獣の狩猟が解禁となり、エゾシカも27日から解禁となりました。蛍光ベストの着用等誤射防止対策の徹底とともに、一般道はもとより、林道等においても道路状況が日々変化することから、路面状況の的確な把握とそれに応じた安全運転の励行、さらには朝晩の冷え込みが段々と厳しくな

り、朝晩と日中との寒暖の差も大きくなることから、日頃の体調管理も重要となってきます。また、北海道における秋季の事故原因をみると、日没時間が早くなるとともに、雨天の日が多くなり、濡れた路面を走行

するケースが増えるようになりま

す。このため、夕方から夜間は見通しが悪くなり、歩行者や自転車の見落としや発見の遅れにつながり、この時期は、特に歩行者や自転車利用者の事故が増加します。さらに、農産物等輸送繁忙期に当たるため、郊外や幹線道路ではトラックなど大型輸送車両の走行が増加し、これに伴う事故の発生が危惧されます。

このような状況を踏まえ、①森林踏査等各種業務においては、森林官等の単独行動の排除に努めるとともに、歩行時は足元及び周囲の状況を確認して、滑りや転倒に注意すること。特に、転石等のある険しい地形では、路面の安定した経路を選び、足元に十分な注意を払い慎重な行動に努めるとともに、笹・小柴などによる跳ね返りや目突きにも十分注意すること。②10月1日から狩猟が始

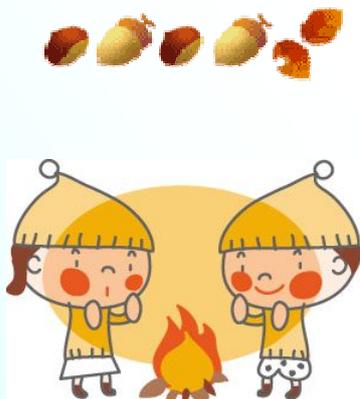
まり、エゾシカの狩猟も27日から解禁となっております。蛍光ベスト等の着用、注意標識の設置や車両への作業中の注意看板の掲示等により、猟銃による誤射防止に万全を期すこと。③林道等では各種工事等の関係車両はもとより、狩猟等の一般車両も多くなり、カーブ等での出合い頭の事故も懸念されることから、最終行での走行に努めるとともに、公私を問わずスピードダウンやライトの早め点灯、「くかもしれない運転」を心掛け、交通安全の未然防止に努めること。④朝夕のミーティング等を活用し、各人の健康状態を把握するとともに、手洗い・うがいの励行等による風邪の予防と、自己の健康管理にも十分留意すること。また、日頃から仲間の言動等に留意するとともに、不安や悩み事などが気軽に相談できるような明るい職場づくり

を心掛けること。

について、しっかりと対応するようお願いいたします。

これから冬期に向け、作業環境が一層厳しくなりますが、職員一人ひとりが同じ気持ち・同じ認識を持ち、職員の健康管理はもとより、労働災害の絶無に向け、気持ちも新たに「署・現場一体となって、各種安全対策を実践し、「安全で災害のない明るい職場」を目指して全員で取り組んでいきましょう。

【次長】



JICA 集団研修



9月4～5日、JICAによる「中国四川省震災後森林植生復旧計画プロジェクト」2012年度日本研修で、四川省の治山事業に携わる研修生11名が、えりも岬国有林を訪れました。

4日はビデオ「夢は砂漠化しない」を視聴後、第一展望台でえりも地区連携型中高一貫教育によるカミネツコン植栽箇所を、百人浜の管理塔からはえりも岬の緑化事業地を視察しました。

5日はえりも治山事業所主任による「えりもの森林づくり～未来に向かって～」の説明後、役場職員・ひだか南森林組合を交えた「地域住民との対話集会」が開催され、国としての仕組みや海岸と内陸などの違いはあるものの、同じ緑化復旧に関わる者として活発な意見交換が行われました。

9月10日、JICAによる集団研修「地域住民の参加による多様な森林保全」コースで、アルメニア・モザンビークなど12カ国から15名の研修生が

えりも岬国有林を訪れました。

午前中は、ビデオ「夢は砂漠化しない（英語版）」を視聴後、第一展望台でえりも地区連携型中高一貫教育によるカミネツコン植栽箇所を視察。百人浜の管理塔からは、えりも岬の緑化事業地や広大な太平洋が見渡せ、海を見たことがない研修生もいたことから、大きな歓声があがっていました。

午後からは、町長・役場職員・ひだか南森林組合・漁業協同組合を交えた「地域住民との対話集会」が開催されました。研修生は、各国の農業・林業・環境保全に関わる公務員等で、えりも岬の緑化事業に係わる事から国有林野事業や漁業に関する事など様々な質問等が出され、活発な対話集会となりました。

両研修の研修生は、えりも岬の緑化事業が多く地域住民に支えられている事に感銘を受けた様子でした。

【治山課長】

年輪クラブ 今年も活動終了

晴天に恵まれた10月13日、御園東森林事務所内の14・145林班で、体験林業年輪クラブ（会長 中島 實）の今年最後の活動である「枝打ち作業」が行われました。

4月29日の出陣式から、月例会と称し、毎月、高見ダム採石跡地の枝打ちや苫小牧市樽前山麓の国有林での下刈など森林づくり活動を行いました。

当日参加した7名は、高見ダム採石跡地に造成されたトドマツ・エゾマツ人工林の枝打ちに心地よい汗をかきながら、昼食の時間も忘れるほど夢中に作業を行いました（こまわりとしたことから途中でやめられなかった）。例年であればこの時期の高見湖畔は鮮やかな紅葉に包まれているのですが、今年は猛烈な残暑の影響で二週間ほど遅れており、「紅葉狩り」は今ひとつだったものの、高見ダム展望台での昼食後に裏山を散策し、今年豊作のキノコやコクワ等の山の恵みをGetしたようです。



当会は森林ボランティアの草分け的存在であり、地球温暖化対策が叫ばれている昨今、人生の先人・先輩である会員の活動をとおし、我々に勇気と共に森林に対する姿勢を教授してくれる体験林業年輪クラブが、より発展と継続するよう願っています。

【流域管理調整官】

職場内研修(森林作業道)



9月18日(木)～14日(金)にかけ職場内研修「森林作業道研修」を行いました。この研修は、平成22年に「森林作業道作設指針」が制定されたことに伴い、森林作業道の作設に関する知識の習得や技術のスキルアップを目的として、日高北部森林管理署、日高南部森林管理署職員が参加し、北海道森林管理局からは販売第一・第二課から5名講師として招き実施しました。

1日目は低コスト高効率作業を進めていく上で欠くことのない「森林作業道」について、一体的な路網整備の必要性や作設にあてての留意点、また各局で実際に作設された作業道の紹介などが講師から話されました。その後、図面上でのルート選定の実習へ・・・基礎的な知識を学習した上で、等高線の間隔から作設指針で定められた縦断勾配や地形等に留意するなど、悪戦苦闘しながらも参加者それぞれが図面を完成させ初日の座学は終了しました。

2日目は前日の座学を踏まえ、ルート選定を行った現地の実習を若園森林事務所部内で行いました。

現地では、急傾斜地でのルート選定する上での留意点や図上では現れない地形上の問題点などが講師より説明され、(当日は大変な猛暑の中でありましたが)前日に選定したルートの善し悪しや「盛土」によるカーブ作設のポイントなどは、参加者からも活発な質問や意見も出て大変有意義な実習となりました。

今回の研修で図上で地形を見る目を養うことや現地での実習等習得したことを今後の森林施業に生かしてほしいと思います。

【業務第二課長】

えりも中高一貫教育と高校生編

9月18日、今年も「えりも地区連携型中高一貫教育・百人浜に学ぶフイールド学習B」がえりも岬国有林内において行われました。

これは、えりも高校一年生がクロマツの枝落とし作業を行いえりもの森林づくりに貢献するというもので、平成18年からえりも町役場、教育委員会、ひだか南森林組合と連携して行っています。

当日は、林業総合センターにて開会式を行い、上平署長から挨拶がありました。その後生徒たちが中学二年生の時にカミネツコンを使用して植えた広葉樹を見に行きました。今回の生徒たちの代からは獣害防止柵の中に植樹しているためエゾシカによる被害もなく、自分たちの植えた苗木が順調に生長していることを喜んでいました。



苗木の様子を観察した後は、作業場所に移動し、枝落としの方法とノコギリを使う際の注意事項を説明しました。最初は怖いと言いつながら恐る恐るノコギリを扱っていました。慣れてくると「楽しい!!」と言いつながら夢中で作業をしていました。

当日はえりも岬でも24℃という残暑厳しい日でしたが、生徒たち41人は元気にクロマツの枝落としを行い、えりもの森づくりに貢献してくれました。中学・高校を通して地元の森林の育成に関わるこの環境教育を通じて、日本の森林、自然の大切さについて学んでほしいと思います。

【えりも治山事業所主任】

林活議連の浦河町議「国有林・民有林視察」

9月26日、毎年実施している森

林・林業・林産業活性化浦河町議会連盟の国有林・民有林視察が、小原会長外11名、浦河町職員5名及び上平署長外3名の署員が参加して、野深森林事務所内の国有林と「赤心の森」町有林で行われました。3082林班の国有林では、平成18年度に発生した、低気圧による風倒被害地のその後の復旧状況を視察しました。また、「赤心の森」では、昭和60年度より「緑化思想の普及と桜の名所づくりを」とのことから森林整備が行われ、今では毎年5月には桜が咲き、自然休養の場として親しま



れているとの説明がありました。視察途中の降雨により視察時間が早めに切り上げ、浦河町の保養施設でもある「柏陽館」の会議室に場所を変え、意見交換会も行いました。

「森林の木はどれだけ使われているのか」などの森林づくりに関する意見が多く出され、予定された時間内で終わらないほどの積極的な意見交換会となりました。最後に、森林・林業の現状把握に向けた現場視察について、今後も継続していくことを確認し、散会となりました。

【流域管理調整官】

狩猟解禁

一 般：10月1日～1月31日
 エゾシカ：10月27日～2月28日

今年度も狩猟が解禁となりました。一般狩猟は10月1日から、エゾシカ狩猟は10月27日からのスタートとなり今年度日高管内のエゾシカ狩猟の解禁日は統一されています。終期はエゾシカ以外は1月31日でエゾシカは2月28日となっております。

今年度も狩猟解禁に先立ち関係する猟友会の代表者等に出席をいただき、当署の安全対策と入林手続きの説明会を開催すると同時に残滓処理や矢先の確認について細心の注意を払い、事故の無い狩猟を要請しています。昨年度から実施している、ゲート施錠のナンバーキーについては今年度も実施することとしていますが、今年度と昨年度の大きな違いは全道一括入林承認説明会に当署としても参加したことです。この説明会に先立ち9月上旬には狩猟禁止区域を定めた図面を作成しましたが、例年より早い時期での作成となり、実際の狩猟解禁日に事業が終了していたり、逆に予定していなかった箇所での事業が想定されることから、変更点については局ホームページへの掲載と、こまめな現地表示をすることが安全対策上や可猟区域拡大の観点から必用になり、現場の皆さんのご協力をお願いします。

なお、昨年は喜茂別町で、一昨年は厚真町で狩猟にかかる事故が発生していることから当署の国有林で事業実施する事業体に対しても安全対策の徹底を要請したところですが、併せて、昨年同様エゾシカ狩猟の解禁日には静内警察署と合同で巡視を実施し狩猟モラル向上を呼びかけました。

【業務第一課長】

現場だより

御園東森林事務所

森林官 石黒 雅人

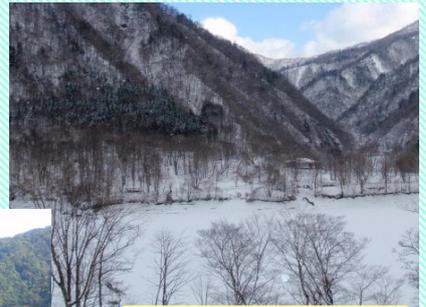
長かった暑さも終わり、少しずつ朝晩の寒さを感じる季節となりました。

4月の人事異動により森林事務所のメンバーも変わり、所員に新規採用の菊池さんが加わり、合同森林事務所の若返りが更に進みました。

現在、当森林事務所内では、地林況調査を主に行っていますが、菊池さんの若さとパワーに圧倒されながらも楽しく事業を進めています。



双川ダム方向



↑返地前のキャンプ場(2年前)

今年度の旧キャンプ場↓



今まで静内キャンプ場として親しまれた用地が昨年度返地され、今年度の新規貸付で、使用目的も変わり、現在はキャンプ場があつたとは思えない別の姿となり、ひとつ寂しくなつたようにも感じます。

これからは寒さに向けた健康管理と安全対策を確実に行的無災害で業務を進めていきたいと思ひます。

営林友の会 山を観る会

10月10日、新ひだか町営林友の会が、秋の恒例行事である「山を観る会」を御園東森林事務所内の273林班で会員39名が参加して行われました。

例年であれば、紅葉を楽しみながらの現地への移動も、今年は残暑の影響から色づきが悪く、良い眺めとはなりませんでした。

井上会長・上平署長の挨拶、注意事項等の後、ヘルメットに腰鋸で枝打ち作業へいざ出陣。毎年熱心に枝打ちする会員の皆さんの姿勢が、何時もとちよつと違うような……。



今年キノコなどの山の幸の収穫が期待できることを作業前に説明したことから、林内に入るなり、枝打ちそつちのけでキノコ狩りオンラインの会員もいたようです。予想以上の収穫があつたため今年も早め(昨年は収穫無しで)の昼食会場(会員の大川さんの山小屋)への移動となりました。

昼食懇談会は、毎年会員の皆さんが楽しみにしている、天政(新ひだか町の老舗料理店)さん特製の幕の内弁当とキノコ汁で、本日の反省会をしつつ、秋の一日を満喫しました。

【流域管理調整官】

おめでとう



業務第二課、森林育成係長の山下勇気さんに第2子となる男の赤ちゃんが7月10日に誕生しました。

名前は豪太(ごうた)ちゃん。体重2958グラム、身長50センチのかわいい赤ちゃんです。

パパ、ママの可愛がりようが目に見えるようです。元気で早く大きく育って下さい。2児のパパとなった「勇気パパ」は今まで以上に子育て、仕事に励むことでしょう。

【業務第二課長】

八月～十月行事結果

【八月】

1日～31日 ゼロ災害月間

1日 西の沢下流林道災害復旧工事入札
えりも地区での植樹打ち合わせ

2日 真野地先の沢治山工事入札

3日 日高流域森林・林業活性化協議会
若園・奥新冠地区(保育間伐)入札

6日 エゾシカ対策に関する地域意見交換会
産業医現場巡視(静内地区)

9日 収穫調査業務委託2号・3号入札

20日 盆休み後の安全の呼びかけ(静内・浦河地区)

24日 新ひだか町・森林管理署連絡会議

27日 えりも町・森林管理署連絡会議

28日 森林生物遺伝資源保存林第2回設定委員会
安全衛生委員会

29日 エゾシカ捕獲技術に関する報告会

30日 第2回「環境教育 百人浜に学ぶ」事業所会議

31日 えりも地区での植樹打ち合わせ
「北海道森づくり基本計画」等意見交換会

【九月】

1日～30日 国有林野事業労働衛生週間準備期間

3日 治山事業現地検討会

4日～5日 JICA中国四川省研修
旧公団林道平取・えりも線 静内・三石区間打合せ

5日 新ひだか町営林友の会役員会

6日 えりも町森林整備計画実行管理推進チーム全体会議

7日 森林官等会議

10日 JICA集団研修「多様な森林保全コース」
産業医現場巡視(浦河地区)

12日 レク森等掲示板組立及び設置業務

13日 東の沢左岸林道改良工事入札

13日 体験林業「年輪クラブ」月例会
職場内研修(森林作業道)

18日 えりも地区中高一貫教育

20日 運動機能検査

21日 エゾシカ狩猟説明会

24日 23年度新冠地区保全整備造林入札
発注者網紀保持委員会巡回点検

25日 森林生物遺伝資源保存林設定委員会
広報委員会、安全衛生委員会

26日 森林・林業・林産業活性化浦河町協議会連盟
「国有林・民有林視察」

27日 日高地区治山工事実施測量・設計業務入札
物品購入入札

【十月】

1日～7日 国有林野事業労働衛生週間

1日 オケルンベ沢(その2)治山工事入札
衛生講話

2日 芽呂支線林道(林業専用道)新設工事入札

3日 総括安全衛生管理者現場巡視(静内・東川地区)

4日 総括安全衛生管理者現場巡視(浦河地区)

5日 森林・林業・林産業活性化新ひだか町議員連盟
「山を観る会」

6日 えりも岬緑化研究会総会

10日 新ひだか町営林友の会「山を観る会」

15日 産業医現場巡視(静内地区)

15日 体験林業「年輪クラブ」月例会

16日 収穫調査業務委託入札

16日 えりも地区での植樹打ち合せ

17日 西の沢林道アイマベツ線(林業専用道)
改良工事外一件入札

18日 節婦林道新設工事現場技術業務委託入札

22日～23日 えりもワクワク森林づくり植樹祭・講演会

24日 井寒台憩いの森づくり(森林教室)

「地域住民と創る道有林」現地検討会

秋季消防演習(静内)

26日 レク森掲示板組立・設置入札

26日 森林官等会議、安全衛生委員会

タイヤ類購入入札

29日 御園西・御園東地区外保全整備(保育間伐等)入札

30日 車両売り払い入札

31日 狩猟巡視(新冠地区)

今後の行事予定 【十一月】

7日 安全運転管理者等法定講習会

8日 ポロウシナイ林道新設測量・設計業務外2件入札

12日 産業医現場巡視(浦河地区)

27日 森林官等会議

溪流

- ◆これから冬に向け、日没時間が早くなります。薄暮時は安全作業・安全運転を心掛けましょう。
- ◆降雪期に向かうにつれ、1日の温度差も拡大していきます。気温にあった服装を心掛けましょう。
- ◆今年は、10月1日から一般狩猟、27日からシカ狩猟解禁です。オレンジベストを完全着用しましょう。



【事務局】